



CHASE YOUR DREAM

3月のレース結果

富士クリテリウムチャンピオンシップ 3月4・5日(土・日)

参加選手：橋本英也、今村駿介、松田祥位、河野翔輝、兒島直樹
3位：今村駿介 / 4位：兒島直樹
<https://fcrr.fujicity.jp/2023/>

TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP CAIRO

ネイションズカップ第2戦@カイロ 3月14~17日(火~金)

- 男子チームバシュート 8位(DNF)：松田・窪木・今村・兒島・橋本
- 女子チームスプリント 8位：太田(43秒885)
- 男子チームスプリント 3位：長迫(43秒361)
- 男子エリミネーション 6位：窪木 / 8位：橋本
- 男子オムニアム 8位：今村 / 予選敗退：兒島
- 女子スプリント 6位：太田りゆ(10秒793)
- 男子マディソン 10位：窪木・今村 / 15位(DNF)：橋本・兒島
- 女子ケイリン 10位：太田りゆ

<https://www.uci.org/race-hub/2023-uci-track-nations-cup-cairo-egy/60TeoYqaamwvvn3yRXAfqM>

第1回袋井・掛川ロードレース@静岡 3月25・26日(土・日)

参加選手：窪木一茂、今村駿介、河野翔輝、兒島直樹、松田祥位、岡本勝哉、山下虎ノ亮



Day1 優勝：今村駿介 / 2位：窪木一茂
Day2 優勝：今村駿介

Day1での今村・窪木のワンツーフィニッシュ

4月レース予定

TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP MILTON (ネイションズカップ第3戦@ミルトン) 4月20~23日(木~日)

<https://www.uci.org/race-hub/2023-uci-track-nations-cup-milton-can/54bCl6BZAU6D5pk45IDR34>
参加予定選手：未定

第57回西日本ロードクラシック 第3回播磨中央公園ロードレース

4月15日(土)、4月16日(日)

<https://jbcfroad.jp/race/198/>

参加予定選手：河野翔輝、松田祥位、岡本勝哉、山下虎ノ亮

第57回東日本ロードクラシック 4月29~30日(土・日)

<https://jbcfroad.jp/race/200/>

参加予定選手：窪木一茂、橋本英也、今村駿介、河野翔輝、松田祥位、山本哲央、兒島直樹、岡本勝哉、山下虎ノ亮 (※上記から8名、メンバー変更の可能性あり)

チームブログでは、レースの翌日お昼に結果と選手のコメントを公開しています。ぜひこちらもチェックしてください!

<https://www.bscycle.co.jp/anchor/blog/Team-Blog/>

※各レースの参加選手が変更となる場合もありますご了承ください。

ネイションズカップ第2戦を終えた時点でのオリンピックランキング

※3月22日時点でのオリンピックランキングは下記の通り

- 男子チームバシュート (出場枠10カ国)
9位 日本 1,760p
- 男子チームスプリント (出場枠8カ国)
6位 日本 1860p
- 女子チームスプリント (出場枠8カ国)
8位 日本 1,260
- 男子マディソン (出場枠5カ国) +チームバシュート出場国：計15カ国
9位 日本 1840p (チームバシュートで出場枠圏内)
- 男子オムニアム (出場枠7カ国) +マディソン出場国：計22カ国
14位 日本 616p (チームバシュートで出場枠圏内)
- 女子スプリント (出場枠7カ国) ※1カ国最大2名
+チームスプリント出場国+ケイリン出場枠：計30名
6位 日本 1120p
- 女子ケイリン (出場枠7カ国) ※1カ国最大2名
+チームスプリント出場国+スプリント出場枠：計30名
3位 日本 1600p

現在の順位だけを見てもどの種目も出場ボーダーライン上に見えますが、実はヨーロッパ勢はすでに大陸選手権を終えているので、その分が加点されています。日本の場合は6月に大陸選手権(アジア選手権)を控えているので、その分を見込んでランキングを見るとある程度順調なスタートが切れていると言えますが、油断はできない状況です。

※参考までに優勝した場合のポイントは下記の通り
<個人種目 / 450p: マディソン / 900p: チームバシュート / 900p >
※オリンピック出場枠の仕組みについてはこちら
<https://www.bscycle.co.jp/anchor/blog/2022/07/roadtoparis-bs.html>

先日、ネイションズカップ第2戦カイロ大会が開幕。カイロ大会もオリンピックポイントの面では最低ラインという結果となってしまいました。この悪い流れを払拭できるように、来月に控えるネイションズカップ第3戦ミルトン大会には気持ち切り替えて臨みます。引き続き応援をよろしくお願いたします。



左から兒島選手、窪木選手、今村選手、太田選手、橋本選手、松田選手、長迫選手

■今村駿介選手
「ネイションズカップ第1戦を振り返っていかげんかでした。オムニアムの落車DNFやチームバシュートのDNSなど、今回は自分のパフォーマンスを發揮できなかったことが悔しかったです。いいスタートとは言えないですが、大怪我でなかったことが救いでした。今までのネイションズカップと比べると、1つの順位差でオリンピックポイントが大きく変わってくるため各国の順位に対する執着を感じました。次からは1

■太田りゆ選手
「ジャカルタ大会はいかがでしたか。周りの選手の結果と比べると、少し残念だったので、個人としては次に繋がるレースができたので悪くはないです。特に収穫があったのがスプリントでした。前回スプリントで

■長迫吉拓選手
「チームスプリントで4位、おめでとうございます。調子の良さを実感させてレースを迎えられたのでしょうか。チームスプリントは基本的に自分の持ちタイムがあつて、タイムを上げる可能性よりもプレッシャーなどでタイムを落とす可能性の方が高いと思っています。なので調子の良さは感じていたものの今回は期待値を上げすぎず、やってきたことをしっかりと出すことを意識したのが良かったと思っています。初日の中距離のチームバシュートの予選5位通過に刺激を受けて力を出せた感覚がありました。中距離チームと短距離チームはお互いに相乗効果があり、良い関係性だなと思います。今年初の国際大会でしたが、去年までの違いは？」

いよいよオリンピックの枠取り争いがスタート！ ネイションズカップ第1戦ジャカルタ選手インタビュー

いよいよ2月からパリ2024オリンピックに向けてのポイント獲得のための海外レース、ネイションズカップがジャカルタで開幕し、3月には2戦目がかairoで行われました。

2戦ともオリンピックポイント獲得という面では、最低限はクリアという結果となりました。今回は、オリンピックのポイントがかかった初の国際大会となったネイションズカップ第1戦について、第2戦渡航前の7名の選手に行ったインタビューの内容と、現在のオリンピックポイントについてご紹介します。

■窪木一茂選手
「オリンピックポイントがかかった初めての大会となりましたが、いかがでしたか。国際大会ですし、レベルはそれなりにあつた中で結果としては悪くなくなつたと思います。チームバシュートではチームに貢献できたと思いますし、エリミネーションでは惜しくもメダルには及ばなかったですが良い走りが出てきて自信になりました。マディソンは昨年までとは全然違う走りです。先を見据えて走り、結果は8位で、内容は良かったです。結果は8位で、内容は良いと思います。結果は8位で、内容は良いと思います。結果は8位で、内容は良いと思います。」



男子チームバシュート予選

■橋本英也選手
「エリミネーションで金メダル、おめでとうございます。調子も戻ってきたようですね。エリミネーションはもととは出る予定ではなかったのですが、たまたまチャンスが降ってきたので「じゃあ出よう」ということだったんです。その中で強いメンバーと戦って、いつものプリチストンのジャージで優勝できたことが嬉しかったです。ずっと前まで走っていて気がついたら人数が少なくなっていて、僕の体力も意外に残っていたので、「あ、これはいけるぞ。」と。今年のレースはオリンピックポイントに関わってくるので、去年と一昨年は少し余力を残しつつ今シーズンにピークを作れるように調整していたところもあり、今とても調子が良いです。」

■兒島直樹選手
「今回の大会はいかがでしたか。自分の成長を感じられて、収穫があったレースだったと思います。チームバシュートはベルギーにも勝ちましたし、タイムがあまり出にくい環境の中でも予選を5位で通過できたのは、チームとしても成長を感じられました。マディソンに関しては昨年のグラスゴウのネイションズカップではレースについていけなかったのですが、今回はしっかりとついていくことができました。ラップもして、5位に入れたので成長を感じられたレースになりました。」

1/4決勝を走った時は疲労で何もできずに終わってしまいました。負けたものの手ごたえがあつて、「1/4決勝で勝つ」という今の目標が、不可能じゃないと実感できましたし、少しずつ目標に近づけている感覚があります。



男子エリミネーションで優勝した橋本英也



チームプリチストンサイクリングHP
<https://www.bscycle.co.jp/anchor/team/>

